

横綱貴乃花が引退

決意の再出場も実らず

史上4位の優勝22回を記録するなど、大相撲の看板力士として君臨した西横綱の貴乃花(30)は、本名花田光司、東京都出身、二子山部屋Ⅱの現役引退が初場所9日目の二十日、決まった。貴乃花は8日目まで4勝3敗1休の不振で、父で

師匠の二子山親方(元大関貴ノ花)と話し合い、決断した。貴乃花は一昨年五月の夏場所14日目の大関武双山戦で右ひざに大けがを負いながら、千秋楽も強行出場。優勝決定戦で横綱武蔵丸を破って22度目の優勝を果た



引退を決断した横綱貴乃花

し、大きな感動を呼んだ。しかしこのけがの回復が遅れ、翌名古屋場所から、横綱としては最長となる7場所連続全休。昨年秋場所は12勝を挙げたが、続く九州場所はまた休場。進退を懸けて臨んだ今場所は、途中休場し、再出場したが本来の相撲は取れず、土俵を去ることになった。

貴乃花は兄の元横綱三代目若乃花とともに一八九八年春場所で初土俵を踏んだ。十兩昇進から初優勝、大関昇進など次々と最年少記録を塗り替えるスピード出世で、兄弟による若貴ブームを起こした。九四年九州場所後に横綱昇進。若乃花が九八年夏場所後に横綱に昇進し、史上初の兄弟横綱を実現させた。

詳細は夕刊で